

この年表は、6月7日～9月20日号の広報いちかわで連載し、8号分全てをつなげると現代～飛鳥時代の年表になります。

6月分の年表の時代解説は9面下段の「ちよこつと伝え隊」を参照してください。

にらめっこ御奉謝を
市無形民俗文化財に指定する

駒形大神社に伝わる豊作を祈願する一連の行事で、先に笑うと大盃のお酒を飲み干す「にらめっこ」が有名である

営団地下鉄東西線が全線開通する

緑地を指定し保全する

新浜鴨場を含む83ヘクタールを保全し、クロマツを市の木に指定

大町自然公園が開設される

人口30万人を突破する

J R武蔵野線開通

国府台辻切りを

市無形民俗文化財に指定する

ワラの大蛇を地域の四隅に飾り、悪霊除けや健康を願う

台風24号で真間川水系が氾濫

床上・床下浸水約7500戸

市川市核兵器廃絶平和都市宣言

人口40万人を突破する

都営地下鉄新宿線が開通する

本八幡駅開業

北総公団線が延伸する

北国分駅、松飛台駅、大町駅開業

クリーン・グリーン都市宣言

1989

消費税の導入
米ソ冷戦の終わりを宣言

1991

阪神・淡路大震災がおこる

1994

長野オリンピック・パラリンピック開催

1995

日韓ワールドカップ開催

1998

イラクの復興支援に自衛隊を派遣する

2002

東日本大震災がおこる

2004

大洲防災公園の設置
WHO憲章の精神を尊重した
「健康都市いちかわ」宣言

2007

大柏川第一調節池緑地が開園する

2009

アイ・リンクタウン
展望施設の完成

2011

ガーデニング・シティいちかわ開始

2021

東京オリンピック・パラリンピック開催

2024

市制施行90周年

2025

全国国府サミットin市川開催

市川のできごと

日本のできごと

令和時代

平成時代

昭和時代



北国分駅周辺写真 平成2年(1990)ころ



物流施設のある塩浜1丁目の様子
令和6年(2024)

全国国府サミットin市川開催記念

市川のあゆみ

この年表は、6月7日～9月20日号の広報いちかわで連載し、8号分全てをつなげると現代～飛鳥時代の年表になります。

6月分の年表の時代解説は6月7日号9面下段の「ちよこつと伝え隊」を参照してください。

京成電車開通

本所押上を起点に市川新田（現市川真間）まで

八幡町外九ヶ町村耕地整理組合設立

一九一九年に工事完了

石井早生ができる

大野迎米の石井兼吉が開発した梨の新品種

台風と高潮が重なり大水害がおこる

行徳の塩田が壊滅した

江戸川放水路が完成する

上毛モスリン中山工場操業開始

上毛モスリンの工場は後の日本毛織中山工場で、現在のニッケコルトンプラザ

第一次世界大戦がおこる

ベルサイユ条約に調印する
国際連盟を設立する
関東大震災がおこる

普通選挙法、治安維持法が成立する

大正時代

満州事変がおこる

満州国を建国する
海軍青年将校らの反乱事件（五・一五事件）
国際連盟を脱退する

陸軍青年将校らの反乱事件（二・二六事件）
日中戦争が始まる

第二次世界大戦が始まる
太平洋戦争が始まる

広島・長崎に原子爆弾が落とされる
ポツダム宣言を受諾する

日本国憲法を公布する
日本国憲法を施行する

朝鮮戦争がおこり、警察予備隊（後の自衛隊）を設置する
サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約

日ソ共同宣言に調印する
国際連合に加盟する

日米新安全保障条約に調印する
国民所得倍增計画を立てる

昭和時代

市川市が誕生する

市川町、八幡町、中山町、国分村合併による

市川市最初の都市計画

都市計画用途地域と風致地区の指定

江戸川区篠崎に水閘門が完成

前年以降の空襲で市域も被害にあう

市川市と大柏村が合併する

国府台運動公園・国府台球場開設

市川市と行徳町が合併する

市川市と南行徳町が合併する

里見公園が市立公園として開園

市域東京湾岸埋め立て開始

京葉道路が開通する

市川のできごと

日本のできごと

全国国府サミット in 市川 開催記念

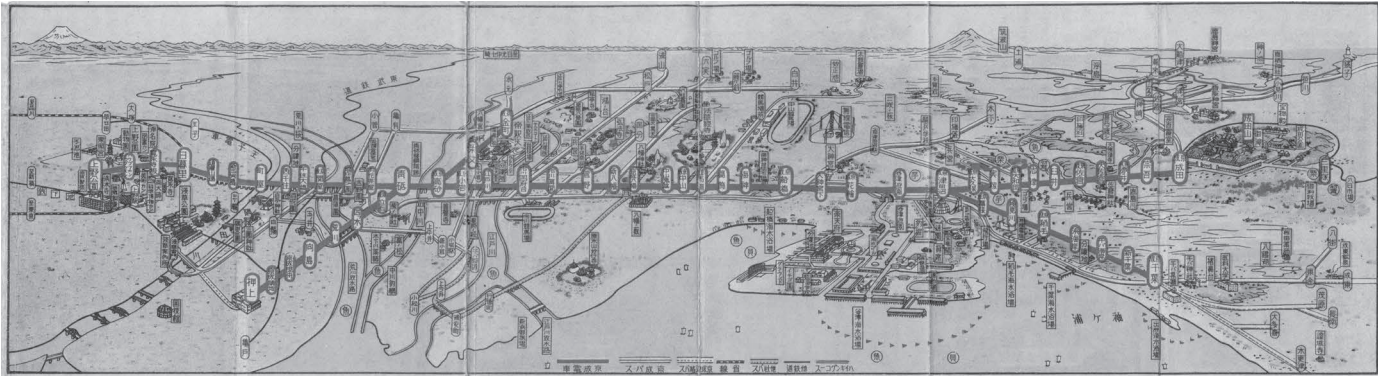
市川のあゆみ



空襲のあった市川新田地域
昭和20年(1945)2月25日



『京成電車沿線案内』昭和10年(1935)～17年(1942)



この年表は、6月7日～9月20日号の広報いちかわで連載し、8号分全てをつなげると現代～飛鳥時代の年表になります。

7月分の年表の時代解説は7月5日号9面下段の「ちよこつと伝え隊」を参照してください。

朝鮮出兵(慶長の役)

関ヶ原の戦いが起こる

安土桃山時代

徳川家康が江戸幕府を開く

大坂夏の陣が起こる

武家諸法度(元和令)が制定される

市川の渡しが定船場となる
(関所の始まり)

内匠堀の開削開始

狩野浄天・田中内匠が
幕府の許可を得て開始する

法華経寺五重塔が建立される

本行徳村と江戸小網町間の
船便就航

参勤交代制度が確立する

島原・天草一揆(島原の乱)が起こる

鎖国が完成する

生類憐みの令が出される

八幡宿に助郷が設けられる

1685

松尾芭蕉が市域を通過する

1687

行徳・八幡を経て鹿島に句詠みの旅の道中

享保の改革

1716

徳川吉宗、行徳塩浜の
普請を命じる

1722

御普請金二〇〇両

梨栽培が始まる

1770

八幡の川上善六が美濃地方から
梨の接穂を持ち帰り栽培を始める

1774

『解体新書』が刊行される

寛政の改革

1787

葛飾八幡宮で梵鐘が出土する

1793

境内から経筒や和鏡とともに

芭蕉百回忌に「潮塚」が建立される

1797

行徳の俳人戸田表丈が
法善寺に建てる

常夜灯が建立される

1812

日本橋の講中が
行徳の河岸に建てる

1821

伊能忠敬の日本地図が完成する

天保の大飢饉が始まる

大塩平八郎の乱

江戸時代

市川のできごと

1837

1833

全国国府サミット in 市川 開催記念

市川のあゆみ

この年表は、6月7日～9月20日号の広報いちかわで連載し、8号分全てをつなげると現代～飛鳥時代の年表になります。

8月分の年表の時代解説は9面下段の「ちよこつと伝え隊」を参照してください。



立正安国論などの国宝や重要文化財などが保存されている
中山法華経寺聖教殿

富木常忍(日常)没
大田乗明の子日高に法華寺をゆずり、
法華寺と本妙寺を両寺一主の寺とした
(中山法華経寺の始まり)
丸子真吉が葛飾八幡宮に
梵鐘を寄進

1299
1321
1333
1334
1336

鎌倉幕府が滅ぶ
建武の新政
南北朝対立が始まる

鎌倉時代



葛飾八幡宮拝殿

足利成氏軍が市川城を攻め落とす
千葉実胤・自胤ら敗走

1456
1455
1404
1397
1392
1338

足利尊氏が室町幕府を開く
足利義満が南北朝対立を終わらせる
義満が鹿苑寺金閣を建てる
日明(勘合)貿易が始まる
享徳の乱が起こる
鎌倉公方足利成氏が関東管領を暗殺

1467
1478
1485
1488
1489

応仁の乱が起こる

太田道灌、国府台に陣地構築(国府台城)
臼井に立てこもる千葉孝胤討伐のため

第一次国府台合戦
北条氏綱、足利義明・里見義堯を国府台に撃破

1538
1489
1488
1485
1467

山城の国一揆が起こる
加賀の一向一揆が起こる
足利義政が慈照寺銀閣を建てる

第二次国府台合戦
北条氏康、里見義堯・義弘を国府台に撃破

1543
1549
1560
1564

鉄砲が種子島に伝来する
キリスト教が伝来する
桶狭間の戦いが起こる

室町時代

行徳の塩田整備が始まる
慶安(一六五二)ごろにかけて、
徳川秀忠・家光が金三〇〇両・金二〇〇両を貸与

1573
1575
1582
1588
1590
1592
1596

織田信長が足利義昭を追放する(室町幕府滅亡)
長篠の戦いが起こる
本能寺の変が起こる、豊臣(羽柴)秀吉が検地を始める
刀狩令
秀吉が全国を統一する
朝鮮出兵(文禄の役)

安土桃山時代

市川のできごと

日本のできごと

全国国府サミット in 市川 開催記念

市川のできごと

この年表は、6月7日～9月20日号の広報いちかわで連載し、8号分全てをつなげると現代～飛鳥時代の年表になります。

8月分の年表の時代解説は8月2日号9面下段の「ちよこつと伝え隊」を参照してください。



菅原孝標女は牛車で下総国を通過した

平維良が
下総国府を焼く

1003

藤原道長が摂政となる

菅原孝標女が

下総国経由で上洛

『更級日記』

1020

平忠常の乱が始まる

(一〇三二)

1028

前九年合戦が始まる

1051

平等院鳳凰堂が完成

1052

延久の荘園整理令が出される

1069

後三年合戦が始まる

1083

白河上皇が院政を始める

1086

保元の乱が起こる

1156

平治の乱が起こる

1159

平清盛が太政大臣となる

1167

源頼朝の伊豆拳兵と安房へ敗走

1180

平安時代

源頼朝が
下総国府を出発する

千葉常胤と会合

1185

壇ノ浦の戦いが起こる、
守護・地頭を設置する

源頼朝が征夷大將軍となる

1192

源実朝が暗殺される

1219

承久の乱が起こる

1221

御成敗式目を制定する

1232

元寇(文永の役)

1249

日蓮「観心本尊抄」
流罪地佐渡で著す

1256

日蓮「立正安国論」
北条時頼に献上

1260

大田乗明没
乗明の子日高が本妙寺を建立

1273

元寇(弘安の役)

1281

永仁の徳政令

1283

市川のできごと

日本のできごと

鎌倉時代

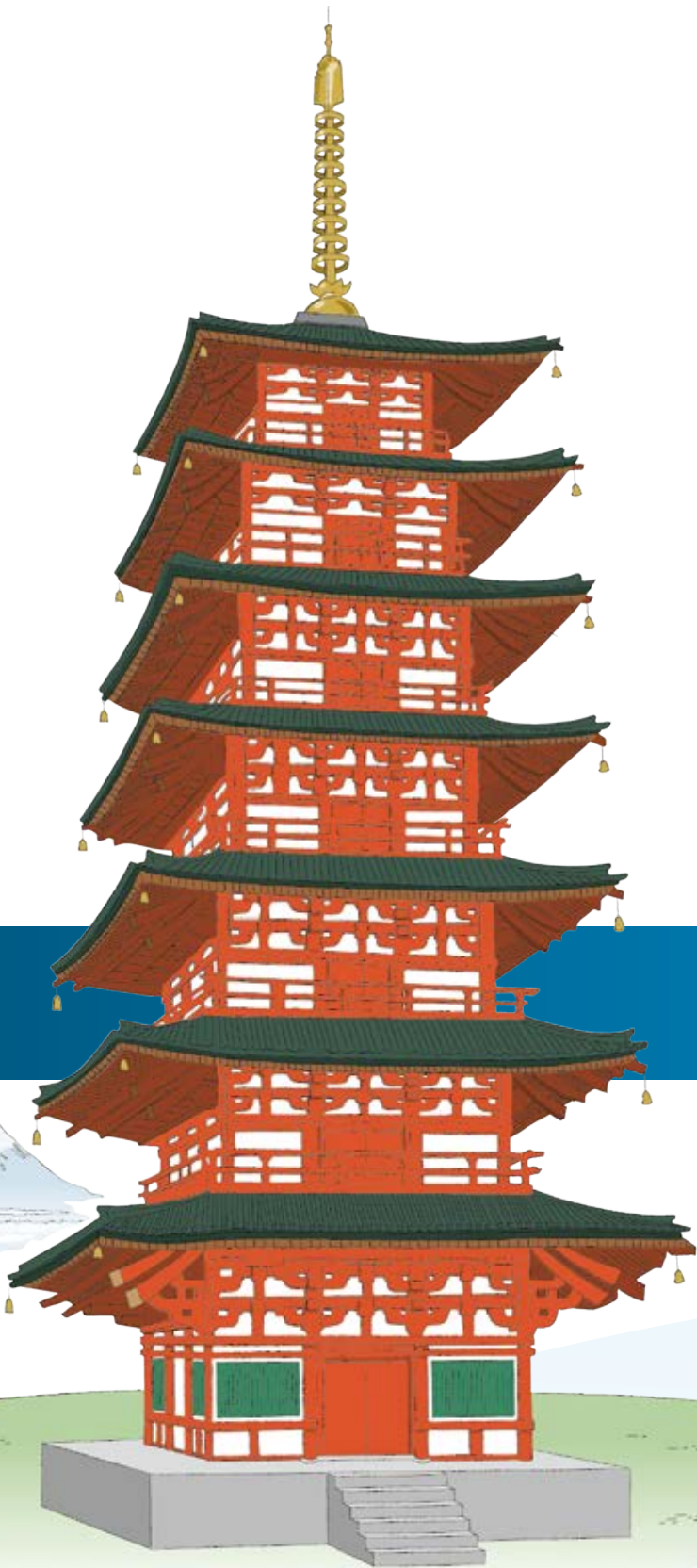


上総から下総に向かう源頼朝一行「紙本著色千葉妙見大縁起絵巻」部分
千葉県指定有形文化財 千葉市・坂尾山榮福寺蔵(非公開)
写真提供・千葉市立郷土博物館

全国国府サミット in 市川 開催記念

市川のあゆみ

下総国庁が整備され下総国分寺の建立が始まる



下総国分寺七重塔想像図

「右京」銘墨書土器

国府台に南北道路が縦断

この頃から下総国府で遺跡が増加
武蔵国が東海道に編入される

奈良時代

784

794

805

818

835

866

875

887

894

935

939

988

1001頃

1010頃

葛飾八幡宮千本公孫樹生育

関東地方で大地震が起こる

太日川(現江戸川)の渡船が増加される

「井上」「遊女」銘墨書土器

下総国で俘囚(捕虜)となった蝦夷が
反乱して官寺(下総国分寺か)を焼く

この頃から下総国府が大きく変わる

市川のできごと

日本のできごと

平安時代

『源氏物語』が成立

『枕草子』が成立

尾張国の郡司や百姓が国司の非法を朝廷に訴える

この頃から摂関政治が隆盛する

藤原純友の乱が始まる

平将門の乱が始まる

国風文化の成立、仮名文字の普及

遣唐使が廃止される

藤原基経が関白となる

藤原良房が摂政となる

下総国の駅路が改変される
東北地方の大規模な反乱が終わる

平安京に遷都

長岡京に遷都

東大寺大仏の開眼供養

養老律令の施行

道鏡が法王となる

東北地方で大規模な蝦夷の
反乱が始まる

全国国府サミット in 市川 開催記念

市川のあゆみ



市川のできごと

日本のできごと

592	推古天皇即位、翌年厩戸王(聖徳太子)が政治に参加
594	仏法興隆の命令
603	冠位十二階の制定
604	十七条憲法の制定
607	遣隋使(小野妹子ら)の派遣
630	遣唐使の派遣が始まる
645	乙巳の変が起き、大化の改新が始まる
663	白村江の戦いが起こる
672	壬申の乱が起こる
689	飛鳥浄御原令の施行
694	藤原京に遷都
このころ各国で国庁が造営される	
701	大宝律令が完成(令はこの年、律は翌年施行)
708	和同開珎を鑄造する

飛鳥時代

新羅からの渡来人が土器を作る
評の表記が郡に改められる

葛飾評の成立
下総国の成立



手児奈想像図
(襟の合わせは左右どちらでも想定可能)

山部赤人
…倭文機(はた)の帯解(おび)き替(か)へて 廬屋(ふせや)立て
妻問(つまど)ひしけむ…

(『万葉集』巻三・四三二)

高橋虫麻呂
…麻衣(あそぬい)に 青衿(あおきん)着(き)け ひたさ麻(あそ)を 裳(も)には織(お)り着(き)て
髪(かみ)だにも 搔(か)きは梳(く)らず 沓(くつ)をだに はかず行(い)けども
錦綾(にしきあや)の 中(な)に包(つつ)める 裔(いは)ひ児(こ)も 妹(いも)にしかめや
望月(もちづき)の 足(た)れる面(おも)わに 花(はな)のごと 笑(え)みて立(た)てれば…

(『万葉集』巻九・一八〇七)

七二〇〜七四〇年代に、
高橋虫麻呂や山部赤人が
真間の手児奈を詠む(『万葉集』)

710	平城京に遷都
712	『古事記』が成立
720	『日本書紀』が成立
奈良時代	
723	三世一身法の施行
740	恭仁京に遷都
741	国分寺建立の命令が出される
743	墾田永年私財法の施行
745	平城京に還都

年表の使い方

この年表は、6月7日〜9月20日号の広報いちかわで連載し、
8号分全てをつなげると現代〜飛鳥時代の年表になります。

9月分の年表の時代解説は9月6日号9面下段の
「ちよこつと伝え隊」を参照してください。